

春^{はる}来^きたり
(海^え老^び澤^{さわ}宏^{こう}升^{しょう})

解説 桜咲く青森県の弘前公園を詠んだ詩。

春^{はる}来^きたり
津^つ軽^{がる}
青^あ森^{おもり}
弘^{ひろ}前^{さき}城^{じょう}

語釈 ※弘前城Ⅱ別名・鷹岡城、高岡城。江戸時代に建造された天守や櫓などが現存し国の重要文化財に指定されている。※公園Ⅱ弘前公園。青森県弘前市にある公園。別名は鷹揚公園、鷹揚園で弘前城が建立されている。

その
公^{こう}園^{えん}は
さくら
満^{まん}開^{かい}

通釈 春が来ると津軽地方、青森県にある弘前公園は桜が満開で訪れる人を迎えてくれる。